

一、次の①～⑤の文の [ ] に最もよくあてはまる言葉を漢字二字で答えなさい。答える時は、( ) 内の説明を参考にし、例にならって答えなさい。

聖

| 例                                                     |
|-------------------------------------------------------|
| 少数意見を [ ] する。(たつと <sup>い</sup> ものとして大切にすること) ↓ (答) 尊重 |

- ① 大食い選手権世界大会で優勝するのは [ ] のわざだ。(たいへんむずかしい様子)
- ② 練習試合で勝った相手だといっても [ ] は禁物だ。(安心して気をゆるめること)
- ③ 電子辞書は文明の [ ] だ。(役に立つ機械や道具・するどくてよく切れる刃物<sup>はもの</sup>)
- ④ シベリアの冬は [ ] を絶する寒さだった。(心の中に思いえがくこと)
- ⑤ 一つのミスで [ ] が逆転した。(物事のなりゆき・どちらが優位に立つかの見通し)

二、次の①～⑤の文の [ ] にあてはまる言葉を、例にならってひらがなで答えなさい。ただし、それぞれの言葉は [ ] 内の文字で始まるものとします。

| 例                                           |
|---------------------------------------------|
| いくら卒業式の日とはいえ、親に車で送ってもらうのは心 [ ] 。 ↓ (答) ぐるしい |

- ① 中学入試が終わったら、四月までは心 [ ] お 遊ぶことができそうだ。
- ② 転校してきたころは心 [ ] ぼ 思いもしたが、卒業を目前にした今ではたくさんの友だちができた。
- ③ 卒業証書を読み上げる先生の目は、心 [ ] な うるんでいるように見えた。
- ④ 式が終わった後、担任の先生への心 [ ] ば のお礼として、クラス全員で歌を歌った。
- ⑤ 親友とけんかをしたまま卒業するのは心 [ ] の [ ] だったので、式の帰り道で仲直りをした。

三、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお「オツチン」とは、主人公の小松誠二（コマ）の同級生である

水尾和良のあだなです。

著作権上の都合により未掲載

著作権上の都合により未掲載

著作権上の都合により未掲載

著作権上の都合により未掲載



光 問三 ――線部③に「最終的な目標」とありますが、「目標」とは何ですか。その説明として最もふさわしいものを、

次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

聖

ア 一度でもいいからまわりのみんなから、すごいやつだと思われること。

イ オッチンが知ろうとしている世界や地球というものを自分も知ること。

ウ オッチンの疑問に対し、正直にどうでもいいと言えるようになること。

エ 重要な学問的問題についてオッチンと議論し、完全に言い負かすこと。

オ オッチンとかっこいい疑問について語り合えるような関係になること。

(1-13)

問四 ――線部④に「聞けばいいじゃないか、って感じなんだけど、まあ、そのうちに」とありますが、誠二はなぜ

聞くことができないのですか。「くから」に続く形になる最もふさわしい五文字以内の言葉を本文から抜き出して

答えなさい。

問五 ――線部⑤に「やることはやった」とありますが、この時の誠二の心情を説明した文として最もふさわしいも

のを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分が考えてきた作戦通りに誰の力も借りずにカードを貼れたという達成感と、いよいよ本当にアルバイトを  
 することになるかもしれないという緊張感。

イ 子どもなのにカードを貼ってしまったて、とがめられないかという不安感と、ついに念願のアルバイトができる  
 という期待感。

ウ 自分の思惑通りに目立つ位置にカードを並べられたという満足感と、他人のカードを勝手に並べ替えてしまっ  
 たという罪悪感。

エ 家族のために自分がアルバイトをしかせぐのだという使命感と、夢に過ぎなかったことがいよいよ現実に  
 なってしまったのだという不安感。

オ アルバイトをするためのカードを貼り、目立たせる作戦はすべて実行したという満足感と、いよいよアルバイ  
 トができるぞという解放感。

(1-14)

## 問六

⑥

に最もよくあてはまる言葉を、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

## 聖

- ア このスリッパくさいです
- イ いくらもらえるんでしょうね
- ウ がんばりましょう
- エ 行きたくないです
- オ 何をしているんですか

## 問七

——線部⑦に「留守番の仕事は、だれにも知らせるつもりはない」とありますが、誠二はなぜこのように思ったのですか。次のア～オの中から最もふさわしいものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア もしオッチンがアルバイトのことを知ったら、自分よりずっとうまくこなしてしまい、またもや劣等感にさいなまれることになるかと恐れたから。
- イ アルバイトをすることに対する価値判断は自分が下したいと思っており、ほかの人からとやかく言われたくなかったから。
- ウ 勝手にアルバイトを決めたことが親に知れると、怒られてやめさせられることになり、せつかくの興奮が冷めてしまうことを恐れたから。

(1-15)

## 問八

——線部⑧に「ひとりで、じゅんすいに、いろいろと感じたい」とありますが、ここまでで誠二の心情はどのように変化してきましたか。次のア～ケの中からふさわしいものを三つ選び、時間の流れにそって並べかえて答えなさい。

- ア これまで勝てなかったオッチンに勝てたことが嬉しくて、何を言われてもいい。
- イ 初めて自分の意志で仕事をする事になり、見知らぬ他人から報酬を得ることになったと興奮した。
- ウ 恐ろしい雰囲気の中での面接が終わり、力が抜けてもうこれ以上ペダルを踏み続けられない。
- エ 小学生なのに仕事をするという罪悪感から、車にまでガーガー文句を言われている気がする。
- オ オッチンと対等になり、周囲からも一目置かれるような存在になりたい。
- カ 留守番の仕事をやりとげたということについて、誰にもコメントしてほしくない。
- キ 今回の留守番の仕事は、自分自身にとってとても大切なことのように感じられ、内緒にしておきたい。
- ク 物事の善悪というものは本人が判断することであって、実際に仕事をしない人が決めるべきではない。
- ケ アルバイトをすることが母親に知られて、こっぴどく怒られるかもしれない。

(1-16)

四、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権上の都合により未掲載

著作権上の都合により未掲載

著作権上の都合により未掲載

問一——線部①に「氷山の一角」とありますが、このたとえばどういうことを表したのですか。その説明として

最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 文章化された法律は、たくさんある規則のひとつだとはっきりわかるように示されているということ。
- イ 法律には相手を信じ切れない冷たさを感じられ、人と人との間に境を作るようなものであるということ。
- ウ たくさんの規則の中には、文章化されただけで相手に緊張感きんちやうかんを持たせてしまうものもあるということ。
- エ たくさんある規則の中には、はつきりと見えるものと、よく見えないものの二種類があるということ。
- オ 規則の中には法律のほかにも、常識や慣習をふくめ、自覚しにくいものもたくさんあるということ。

問二——線部②に「校則は先生と生徒の間にある壁かべである」とありますが、Aさんがこのように感じた理由につ

いて、本文ではどう説明していますか。次のア～オの中から最もふさわしいものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 校則は学校が決めた規則であり、仲良くなれたと感じる先生に対しても、目の前では緊張が隠かくせなくなるから。
- イ 校則は言葉になった規則であり、どうにか友達になった先生に対しても、見張られている気がしてしまうから。
- ウ 校則は文章化された規則であり、それを守らせようとする先生に対して、親しみが持てなくなってしまうから。
- エ 校則は頭で理解する規則であり、わけもなく先生に注意されたとしても、その理由がよくわからなくなるから。
- オ 校則は文章で表した規則であり、表向きは優しく注意する先生に対しても、その背後には厳しさを感ずるから。

問三 ――線部③に「実際にはみ出ることは非常にむずかしい」とありますが、これはなぜですか。その説明として最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分は縛<sup>しば</sup>られていることを自覚していないので、常識に反する行動をしようとしてもできないから。
- イ どのような罰則<sup>ばつそく</sup>があるかははっきりわかっているし、あえて常識からはみ出そうという気にもならないから。
- ウ 気の持ちようだといっても日常生活には他人の視線があふれていて、一歩も踏<sup>ふ</sup>み出すことができないから。
- エ 常識は、いくつかの行動が組み合わさった複雑な問題から成り立っていて、単純なものではないから。
- オ 制約されていることを意識しておらず、たとえばみ出そうとしても周囲の人間が気になってしまうから。

問四 ――線部④に「小さな子どもにだってできます。いや、小さな子どもだからこそできる」とありますが、前者と後者の「小さな子ども」では扱<sup>あつか</sup>い方が違います。その違いの説明として最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 前者はきまりを守ることができない存在として、後者は怒られても結局許される存在として扱われている。
- イ 前者は恥<sup>は</sup>ずかしさを知らない存在として、後者は恥じらいを初めて感じ始めた存在として扱われている。
- ウ 前者は力が弱くて何もできない存在として、後者は無限の可能性を持つ存在として扱われている。
- エ 前者はきびしくしつけられている存在として、後者はいたずら盛<sup>さか</sup>りの存在として扱われている。
- オ 前者はむずかしい動作のできない存在として、後者はきまりを知らない存在として扱われている。

問五 次の規則は、A「目にみえる規則」ですか、B「目にみえない規則」ですか。それぞれ、AかBの記号で答えなさい。

- ア テーブルに足をのせて物を食べてはいけない。
- イ 赤信号の時に道路を横断してはいけない。
- ウ 目上の人には敬語を使う。
- エ 国会議員は選挙で決める。

問六 ――線部⑤に「われわれはそうした『相互監視システム』の中で生きているのです」とありますが、この表現は何を表していますか。その説明として最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 社会の常識という規則は互<sup>たが</sup>いが監視し合うことによって保たれていることの確認。
- イ 互いが監視し合うような疑念と悪意に満ちた世界を変えていこうという提案。
- ウ 互いに監視し合わなければならぬほど、非常識な人が増えていることへの憤慨<sup>ふんがい</sup>。
- エ おせっかいに、互いの小さな欠点をいろいろと指摘<sup>しき</sup>してばかりいる人々への批判。
- オ 周囲から監視されるだけでなく、自分も監視する側であるかもしれないという疑念。

記号で答えなさい。

ア  
許容

ウ  
禁止

工  
食  
事

才  
自然

力  
科学

問八 本文を百字以上百二十字以内で要約しなさい。

【下書き欄】らん——必要ならば使いなさい。